

## 令和5年度 津高東京同窓会「運営委員会」記録

日 時 令和5年10月29日(日) 14:00～15:30  
場 所 品川区・品川第一区民集会所(第一集会室)  
出席者 (33名) (敬称略、卒年順、同一卒年内は50音順に掲載)  
S41 落合敬、脇田允夫 S42 前迫實 S45 奈良谷弘 S47 丹波奈津子  
S48 大村寛明、小口貴予、菊山博之 S49 伊藤俊一、神戸洋史、西村修一、  
吉田万理子 S51 清水徹、野村昌弘、森田和久 S52 尾関健一、正岡文人  
S57 篠原茂樹 S58 庄司勇木、中川法子 S59 岡克治 S60 當野日出樹、  
山本昌幸 S61 倉田陽一、永田浩一、林明子、森祥子 S62 阪本浩一、  
長崎透、吉村かつら、H14 中川祐之 R04 前田悠輔、R05 山村明

### 内容

14:00 開会

#### ◎会長挨拶 (S49 西村)

コロナ禍で開催することができない期間があったが、ようやく今年は津高東京同窓会の総会・親睦パーティを開催することができた。

久しぶりの開催であることに加え、会場も新しい場所となり、戸惑うことも少なくなかったが、無事を総会・親睦パーティを成功裏に終わらせることができた。今年の反省と来年に向けての議論をしたい。

#### 議題(1)今年の総会・親睦パーティ(令和5年9月16日開催)を振り返って

1. 配付資料1(案内状の送付及び総会出席者の状況)について 案内状の送付については、現在、郵送とメールの2つの方法で行っている(案内状の郵送とメールの双方を希望する人もいる)が、今後も、メールでのやりとりを増やすようにする予定である。メールで送付した案内状に対し、HPに出欠の回答を行っている人の案内状送付の方法に関する希望は不明であるが、このような人に対してもメールによる案内状の送付を行う予定こととし、郵送による案内状の送付は例外的な対応としたいため、今後も学年委員からの働きかけに期待したい。

## 2. 配付資料 2(会計報告)について

会費について令和元年度より令和5年度の方が多いが、これは会費の額が後者のほうが高額だったことが原因で、令和元年度の方が出席者数は多い（令和5年の会費は1万円であったのに対し、令和元年度は7000円であった）。

また、「作」6本の寄付の効果は、出席者の満足の観点からだけでなく、経費削減の観点からも大きかったと考えられる。

プロジェクター等についての支出は、プロジェクターを無償で貸してくれる協力者が卒業生の中におり、これを返還するための費用である。会場からプロジェクターを借りる場合、協力者から貸与を受けたものよりも性能が悪く、かつ高額な費用が必要とされる場所であった。この点も、支出を抑えることに大きな効果があった。

## 3. 資料 3(令和5年度津高東京同窓会「総会・懇親パーティ」報告)について

幹事年度より資料に基づいて報告がなされた。

## 4. 質疑応答

- ・パーティ当日十数名の新入会員が参加していたものの、自己紹介をしたのは数名にとどまったと記憶するについては、新入会員全員に自己紹介をしてもらう方がよいのではないか。  
⇒コロナ禍で開催できない期間があったため、多数の新入会員がいたように見えたが、実際は自己紹介をした3名が本来の新入会員であった。今後の同窓会の発展を考えると、若い人達に話しをさせることが望ましいと考えられる。若い人達を一つのテーブルに集めるのではなく、分散させるという対応も考えられるが、かえって緊張して話しができない虞も存する。今後の検討課題としたい。
- ・プロジェクターの画面が見にくいところがあったので、次回からは、部屋の照明について工夫してほしい。
- ・寄付金については、令和元年度に比べて令和5年度は、個人の寄付金額の単価があがったのか？  
⇒必ずしもそうではない。寄付金額の多寡についてはばらつきがある。また、令和元年度のデータがないため、会場で集まった寄付金額の比較はできない。
- ・案内状の送付について、メールアドレスが代わった場合どのように対応するか？  
⇒今後の検討課題である。現時点でもある程度対応できているものもある（複数のアドレスの登録がある場合など）が、他方、メールアドレスが不明となった

場合に郵送によって対応するとしても、限界がある（住所も不明な場合）。学年委員に期待したい。

- ・案内状を郵送する場合の最大のメリットは、寄付金の用紙を同封できることである。ある程度の年齢に達した人に対しては、郵送によって案内状を送付するメリットがあるのではないか？

⇒この点は今後の検討課題と考える。

なお、会議後の調査(by S49 伊藤氏)により、少なくとも昭和20年～30年代の卒業年次の方々に関する限り、ゆうちょ銀行の振込用紙を同封するメリットが高いことが確認されました。

- ・会場内でスクリーンを利用したことはとても効果的だったと思う。
- ・HPへの返信で、上の輪番幹事を2学年で行うことになるかとされているが、このことの決定経緯についての確認がなされた。

⇒重要なことであるため、重要な事項であるため、緊急動議として扱うこととした。コロナ禍で輪番幹事が順次下の学年に回っていくことができない状況が続いたが、年齢からくる体力を考えると、上の輪番幹事の学年の年齢を65歳に戻すことが必要と考える。そのため、向こう2年間ほど上の学年の輪番幹事を2学年で行うことを役員会で決定したという経緯の説明があった。

その上で、今後2年間ほど、上の学年の輪番幹事を2学年で行うことを出席者全員に諮ったところ、異議は出ず、承認された。

- ・印刷代が増えているのは何故か

⇒出欠の返信葉書の印刷代が必要となったためである（OBSの印刷単価の値上げによるものではない）。現状案内状を送付するための封筒については在庫があるが、いずれはその印刷代も必要となる。

案内状の用紙を廉価なものにする等の工夫が必要だが、例えば封筒は現在の用紙の質を維持することが同窓会に対する思いを維持することになるのではないかと考えられる。これも今後の検討課題と考える。

## 議題(2) 来年の総会・親睦パーティ（令和6年9月15日開催予定）に向けて

1. 配付資料4（令和6年度総会・懇親パーティの開催について）日時、場所は既に決まっている（会場を確保する必要があるため）。

輪番幹事は、昭和49年卒と昭和50年卒及び昭和61年卒である。

本会議の後、輪番幹事において、今後についての打ち合わせを行う。

### 議題(3)その他

1. 7年後に、津高が創立 150 周年を迎える。コロナ禍で 140 周年の際には何も行わなかっただけに、150 周年の際には、何かしたいと考えているが、この点については、別途協議したいと考える。

以上